

メンバーの一員となりました。

#### 1991年(平成3年)5月～8月

中学生派遣事業の再開にあたり、鳥羽市国際交流推進協議会は募集・派遣を行い3人がサンタバーバラにホームステイしました。

#### 1991年(平成3年)6月10日

サンタバーバラ市の姉妹都市委員会の脇田孝子委員長から手紙が届き、「11月18日に姉妹都市委員会総会及びディナーパーティをモンテシトカントリクラブで行ないました時、招待状と火事の見舞金を受け取ったARC専務理事のウルリッチ・ガルイエ氏のアルファスクールから鳥羽への礼状で、遠い鳥羽市からの親切なご支援をありがたくお受けします。学校が再建した折には必ず記念のプレートを掲示することを約束します。」というものでした。アルファスクールは、発育・教育障害者協会の(ARC)施設で、アルファ訓練センターというところです。

#### 1991年(平成3年)6月10日

前年度の夏、大火災のあったサンタバーバラ市の姉妹都市委員会から、鳥羽市の皆さんの善意の見舞金に対し、感謝の記念パネルが届けられました。記念パネルは、同委員会の委員のオルビス・アームストロングさんが鳥羽市を訪れて、水谷市長に御礼の言葉と共に手渡されました。



#### 1991年(平成3年)7月6日

しばらく途絶えていた派遣事業が再開。派遣される3人が鳥羽市役所を訪れ、市長と会談いたしました。派遣に決まったのは、中川

千草さん、野村真吾さん、服部路子さんで、鳥羽市教育委員会が募集し、応募者の中から書類審査と面接を受けて選ばれました。

#### 1991年(平成3年)8月1日～11日

市内の中学生3人が選出されて、サンタバーバラ市にホームステイをしました。サンタバーバラの自然の美しさと、人々の明るさ、そして楽しかったホームステイのほか、乗馬や、ヨット、ディズニーランドへの小旅行などを体験いたしました。

#### 1991年(平成3年)8月12日

サンタバーバラ市に派遣されていた中学生3人が鳥羽市役所を訪れ、水谷市長や派遣選考委員お皆さんに帰国報告をいたしました。数々の体験を報告し、言葉や生活習慣の違いですこし失敗もあったが素晴らしい体験旅行でしたと市民の皆さんに感謝をしております。

#### 1991年(平成3年)10月25日～31日



姉妹都市提携25周年を記念して、水谷皓一市長を団長に、親善使節団36人がサンタバーバラ市を訪問いたしました。25日大阪空港を出発しロサンゼルスからバスでサンタバーバラに向かいました。到着後、宿泊の手続きを済ませた一行は、早速市民の方の家でおこなわれた歓迎の夕食会に招かれました。また、昨年5月まで池上町に住んでいたハミルトン夫妻とも再会いたしました。彼らはサンタバーバラ姉妹都市提携委員長として使節団が滞在中、てんてこ舞いでご苦労様でした。翌日はあいにくと雨になりましたが、昨年、市民の皆さんと鳥羽市から火災見舞金として送金

した資金を基にして復興、再建が進められているアルファ・トレーニングセンター(障害者訓練施設)とタッカーズ・グローブ(公園)の2ヶ所視察しました。その後記念式典に臨みましたが、雨天のため式典会場はラスポジスタ公園から仏教会集会場に変更になりました。



式典はシーラ・ロッジ市長の歓迎の挨拶に続き、水谷市長が訪問の挨拶を行ないました。次に火災見舞金に対する鳥羽市民への御礼の言葉が、火災復興施設の代表者トム・ロジャース郡議員とジャン・ロス身体障害者協会会長からありました。式典の最後に水谷市長が訪問の記念樹として檜の木を贈呈する目録を贈り、サンタバーバラの街に緑がよみがえり、今後とも絆が深まることを誓い合いました。

また、式典終了後行なわれた記念文化祭では水谷市長とシーラ・ロッジ市長の太鼓の初打ちに続いて、友好親善使節団に参加した九鬼水軍太鼓の一行は太鼓の演奏を披露いたしました。

会場は350人を越す両市の市民で一杯の中、見事なバチさばきに会場全体が総立ちとなり、いつまでも拍手が鳴り止みませんでした。

今回の友好親善使節団は市民同士が心を通じ合うことのできた、意義深い交流となりました。サンタバーバラを後にした後ロサンゼルス、サンフランシスコを観光し帰国しました。費用は32万5千円、参加者は水谷皓一氏(鳥羽市長)、家田満雄氏(市議員)、井村行夫氏(鳥羽九鬼水軍太鼓・井村綿行)、大田美香様(鳥羽九鬼水軍太鼓・会社員)、片岡納氏(市

会議長)、片岡幸子様(同夫人)、川端礼三氏(会社員)、小久保貞夫氏(鳥羽九鬼水軍太鼓・丸伝商店)、小久保加織様(同長女)、小久保昌一氏(市議員)、谷口由幸氏(鳥羽市消防本部勤務)、中村賢司氏(食堂経営)、中村順子様(同夫人)、野村隆一氏(市長随行人)、前田美紀様(鳥羽九鬼水軍太鼓・会社員)、馬瀬文子様(主婦)、高山幸子様(主婦)、藤本友一氏(無職)、藤本淑子様(同夫人)、佐藤吉五郎氏(元会社員)、宮濱嘉樹(中工鉄工所)、山路弘子様(山路商店役員)、山下善郎氏(市議員)、松尾千代子様(主婦)、小野田昌代様(鳥羽九鬼水軍太鼓・会社員)、小久保清史氏(鳥羽九鬼水軍太鼓)、井尻浩氏(鳥羽九鬼水軍太鼓) 井尻久美子様(鳥羽九鬼水軍太鼓)、松村麻妃様(学生)、中村吉彦氏(鳥羽市役所職員)、小河登氏(無職)、永富久子様(主婦)、尾西和子様(主婦) 他総勢36名

**1992年(平成4年)9月9日**

前姉妹都市委員会副委員長のレイトン・アルミテージ氏夫妻が鳥羽訪問。

**1992年(平成4年)9月30日**

前姉妹都市委員会歓迎委員長のリチャード・デービス氏夫妻が鳥羽訪問。

**1993年(平成5年)6月30日**

立石悦也氏(当時観光施設鳥羽ぶらじる丸社長)が、姉妹都市交流でサンタバーバラ市を訪問。SIC三カ国交流の国際会議がアーバン市であり、市の代表として出席いたしました。その後表敬訪問をいたしました。

**1993年(平成5年)7月 日**

姉妹都市への派遣事業で、鳥羽市の中学生6人が、サンタバーバラを訪問。この選出は教育委員会の希望で各学校より1名ずつ選出されました。ホームステイ先はサンタバーバラ市の家庭に変則的にとめていただき、フィエスタや市内観光などを楽しみました。

**1993年(平成5年)8月11日～23日**

中学生派遣事業で、サンタバーバラの中学生4人が鳥羽市にホームステイ。今回は各学

校から鳥羽の生徒は選出ということで、離島はサンタバーバラ市の中学生を預かれないということで、ボランティアのホームスティ先を探しました。しかしこれは鳥羽の人達も初体験が多く、中学生にホームシックに掛かる子が沢山出て、鳥羽市国際交流推進協議会のボランティアの人達が通訳や食べ物のアドバイスに行くという事態がおきました。しかし、滞在中は中学生同志は仲良く鳥羽の観光や、行事を楽しんでいました。平成2年にサンタバーバラ市を訪問した人の中から中村エマさんがボランティアで人形作りや、茶道教室をしている藤本まり子さんの茶室で茶の湯体験をいたしました。茶室の入り方、茶碗の回し方、飲み方などを教わり、「お茶は苦いけどおいしい」と感想を述べていました。



又ボランティアがついてサンタバーバラの人達は京都へ1泊旅行をいたしました。今回は受け入れが初めてなので、各家庭での計画がたてられないことと、ホームスティ先に小さな子や大人のみということもあったので、計画は鳥羽市国際交流推進協議会のボランティアが立てました。

又このときのホームスティ先はマット・ブラウン君は木田久主一氏宅・世古章雄氏宅、カティ・ハンナさんは吉田美智子様宅・稲垣武氏宅、ダイアン・ホロウイツさんは谷木和子様宅・中村清氏宅、ポール・レブリン君は山本光子様宅・野村真氏宅でお願いしました。

**1993年(平成5年)8月12日**

サンタバーバラの中学生の歓迎会を、鳥羽

市民文化会館で行いました。これは鳥羽市国際交流推進協議会の中にあるボランティアの人達が準備をして、手作りのパーティをいたしました。

**1994年(平成6年)5月9日～6月11日**

SIC三カ国交流の一環として、サンタバーバラを仲介とした姉妹都市交流事業で、漁師さんの交流事業が行われました。鳥羽の代表は安楽島長在住の藤村朝一さんで、メキシコ・ポルトバイエルタ市に研修に行きました。このときには立石悦也氏(鳥羽ぶらじる丸観光社長)が引率してくださいました。

**1994年(平成6年)6月11日～7月8日**

SIC三カ国交流の交換として、藤村さんの家にメキシコ・ポルトバイエルタ市から漁師のナバロ氏がホームスティいたしました。

**1994年(平成6年)7月広報とばにて**

鳥羽市国際交流推進協議会では姉妹都市サンタバーバラから市内に住み、市民と国際交流活動に当たる国際交流員を招く準備をされていて、当市滞在中での必要な物を提供してもらえよう広報とばにて案内を出しました。多くの人達から提供があり、修了した後、それをお返しに行くのに会の中のボランティアの人たちがあたりました。

**1994年(平成6年)7月29日～8月10日**

姉妹都市派遣事業の鳥羽市の中学生3人(湊谷菜見子さん、西村寛子さん、中井伸明君)と引率の稲垣武さんがサンタバーバラ市にホームスティいたしました。昨年に続き交換派遣ということで募集をいたしました。今回の場合条件としてサンタバーバラの中学生を自分の家に受け入れられることを審査のときに確認いたしました。サンタバーバラ市では姉妹都市委員会のハミルトン委員長の自宅でホストファミリーと共に歓迎会に臨みました。オールド・スパニッシュ・フェスタでは西村寛子さんが浴衣姿でパレードの山車に乗り、親善使節の役目を果たしました。中井伸明君のお父さんは鳥羽消防署に勤務しているので、